検索誘引だけでなく電話番号へ誘引（インターネットナンバー）

■広告主：サンスター
■業種：化粧品
■媒体：産経新聞全国
■掲載面：生活面
■掲載日：７月、８月
※複数回掲載
■広告会社：オプト

産経新聞　<第三種郵便物認可>

生活

熱い 夏の七五三

11月の風物詩である七五三。少子化で七五三が家族の“大イベント”と化している状況が後押しし、「早撮りサービス」を展開する写真館や、専用コーナーを前倒しして設ける百貨店が登場し、早くも商戦は盛り上がりを見せている。過熱する「真夏の七五三事情」を追った。（森治）

7つのポケット

「夏前に七五三」―。こう銘打った特集を組んだのは、子供向けファッション誌『キッズ スタイル』（オリコン・エンタテインメント）。ブランド品の着物やお宮参り後のホテルプランを紹介している。「ちょっと早いかなとも思ったのですが、好評をいただいています」と語るのは編集長の所裕子さん。

きっかけは所さんがこう数年感じる準備の“前倒し傾向”だ。「準備を早くからしないと、予約が埋まったり売り切れたりしてしまうという意識が働くのではないか」（所さん）。

博報堂が昨年、子供（1～9歳）への日常必需品以外の支出額（※選美のお菓子やおもちゃ、特別な外食など）を調査した結果、年間平均で43万円に達した。内訳を見ると、両親と4人の祖父母に叔父叔母なども加わり、「平均で『7つのポケット』からお金が出ている」（同社）状況だ。

所さんは「少子化でイベントとしての重要性が高まっている。祖父母の手前、『雑にできない』と感じる父母も多いのだろう」と“現代七五三事情”を語る。

早撮りで特典

特に「夏」に熱い視線を送るのは写真業界だ。

全国354店舗を展開する「こども写真城スタジオアリス」（大阪）は昨年から「早撮り七五三キャンペーン」を始めている。今年も6月中旬から展開を始め、滑り出しは上々だという。

「早撮り」のきっかけは“本番”である秋に予約が集中しすぎることからだ。

「秋は店舗によっては予約が殺到して30分、15分刻みになってしまいます。ゆったり撮影したい方には、夏をおすすめします」と同社。“早撮り”の特典として撮影した写真を年賀状として使えるポストカードにするサービスを付けている。

6月からオープンしたセガが運営する「親子であそべる写真館 MCスタジオ」（東京）でも、「早撮りサービス」を始めた。「プリクラ」の技術を応用し、自然な表情で撮影できることが売りで、店舗には30種類のはかまや着物を取りそろえた。

「早撮り」には3種類のコースを用意。最も高い「ご両家パック」（5万2500円）では、自宅用に加え、両親父母用を合わせた計3セット写真をプリントするなど、かゆいところに手が届くサービスを売りにする。

「MCスタジオ」での撮影風景。プリクラの技術を応用することにより、カメラマンなしで撮影でき、自然な顔で写すことができる　＝千葉県浦安市

投資しても…7割「覚えてない」

「七五三」にお金をかけても記憶に残っているかは微妙なようだ。

三菱電機エンジニアリングが一昨年、社員250人に自分自身の七五三について聞いたところ、「全く覚えていない」が44%、せ、記憶にない人が7割に達した。「よく

じっくり着物選び

七五三で思い浮かぶの色鮮やかな着物。「複数百貨店を見て購入を検討するのは夏。秋からでは

NEW SPACE サンスター
研究１８年！シミを抑制！！
エクイタンス ホワイトロジートライアルキット
詳しくはインターネットナンバーか電話で
31012 アドレスバーに入力！！
アクセスできない場合は http://888.jp から入力
0037-6181-2032 [申込番号 68002]
(受付時間) 9:00～21:00 〈年末年始をのぞく・通話料無料〉